

五十嵐いづみ写真集

IZUMI IGARASHI Photographed by MASASHI HASHIMOTO

KISS  
OF  
FIRE





**ON SALE NEW SINGLE**

「素直になれなくて」  
五十嵐いづみ



**LONG SALE FIRST ALBUM**

「IZUMI」  
五十嵐いづみ



**LONG SALE MEMORIAL SINGLE**

「エスケイプ」  
五十嵐いづみ

NEW START YEAR 1988年1月1日、  
日付変更線を越えたとき、私は今年初めての“夢”をみた。













どうして私のイメージなの？  
"RE"なんて！  
"KISS OF FI"  
本当はもつとロマンティックなのにッ。








ハードでタフなヒロインばかり演じているけど、私、本当はぜんぜん違う。そう、特にアナタのことに關しては。







みんなと一緒に何かをするのって、大好きノ映画もドラマも歌のレコーディングも、大好きな項目に入ります。









女子高で育ったせいかな、けっこう純粋培養されてる。  
悔しいけど、まだ知らないコトばかりなんだ、本当はね。





とっ  
ても  
イカ  
した  
クラ  
スだ  
った  
と思  
うな  
。体  
育祭  
や文  
化祭  
で女  
の子  
50人  
が結  
束す  
るパ  
ワー  
、こ  
れが  
最高  
に素  
敵ノ



何しろ「スーパ」がついてしまつほど  
バイオレンス・ウーマン。

スクリーンやプラウイングに映し出され  
る彼女をみれば、誰だってそんなイメ  
ージを抱いてしまふはずだ。

そのくらい「五十嵐いづみ」という女  
の子は、センセーショナルな存在でも  
つて、出現してくれた。

それなのにどうしてか？

目の前でこちらをツツみつめている  
彼女は、まるで別人をめぐこんでくれ  
ている。

モノトーンで統一したツツクな洋服

グラスを持ちにくくための、すつとの  
ばした腕や指先、軽く揺れる前髪、  
話し始める前に、少し照れてみせる仕  
草、話し方、笑い声、目線の動き、

役柄を脱ぎ捨てた状態のいづみは、  
物語の中ですいぶんハナシが通う……。

困った？

最高にイイ女（もしくは可愛い女の子）

を口説いている。最終、作戦変更し  
なければ手におえない……。

そんな気分を思い出してもうえれば、  
いづみという女の子を形容する言葉は  
いらない。


彼女の演出にのめりついて、いつまでも  
バイオレンスで迫ろうと考えるツツ  
は、もう一度直して来たほうがいい。

たぶん、メル・キブソンが頑張っても  
アーノルド・ツェルツェネツガが  
燃えてみせても、だめなものはだめな  
んだから。

ハードな女が好きでツツは、他をた  
つて欲しい。ハードな女のその裏側を、  
遠くから眺めてみたい気分がツツなら、  
いづみへの熱視線は、そのままで、  
初めはうつすところさしい輪郭、  
少すつ、そのまわりの空気が影より  
光に包まれていくと、  
世界中でただひとつの、いづみ。







あの映画の中で、ミッキー・ロークが演じてる男の人、  
ああいう人って、けっこう私の理想に近い気がする。











思いきつり甘くてやさしくてチャーミングな男性の人のあふなさは、その中でキラリと光るもの。

















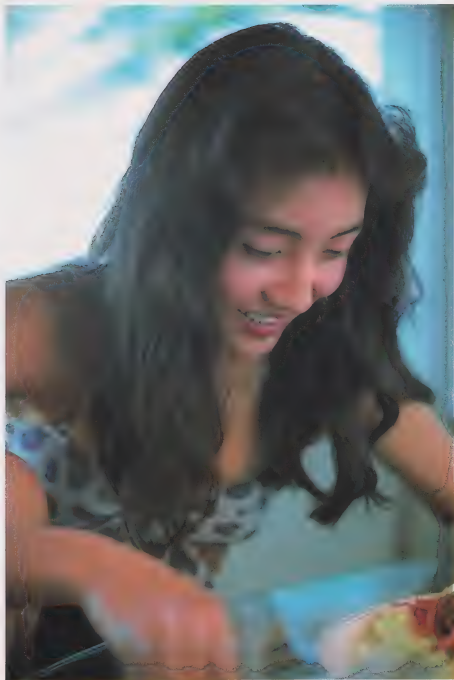
19歳の私にとって、必要なものはたくさんあると思う。  
でもとりあえずいちばんは……いちばんなのは……恋……！







何かを表現する立場にいと、**“今のままの私”だけじゃ**  
**だめ。アナタの知らないところで、私、手に入れてみせる。**









結婚、やっぱり憧れちゃう。夢もあるしね。でも、今は結婚という恋のルールが私にはピンとこないの。











いづみの言う『あの映画』とは、すばり『ロビン・ハーフ』。

「本日のこころ」とプロフィールの中の『好きな映画』の項目のところに、この作品も入れておいたんです。でもスタッフから反対されちゃって（笑）。私は別に『ラッシュ』もなんともナイノと思ってるんだけど（汗）。ヘンなことろばかり見過ぎてるんですよね、きつとスタッフの人たちは笑）。だって、私なんて、あんなに綺麗な映画は初めて観たって感じかも（笑）。

悔しそうな顔をしていづみは早口で、言いかけた。早口になった理由は、悔しさの他にももうひとつある。それは、19歳の彼女が『好きな映画』として口にするには、この『ナイン・ハーフ』はあまりに大人の映画だからだ。

脱乳下を手の平でおおうようにして、それでも、生懸命に話し続ける姿は、

途で可愛いに決まってる。

なのに、こんな意地悪な質問を……いづみ、許して？

——じゃあ、あの中ミッキー・ロークみたいな男性の愛し方は、好き？

「……やっぱり女の人なら嬉しいと思うでしょう？ あそこまでも愛されるってプレッシャーの仕方ひとつとってみても……ね？、やっぱり嬉しいと思っ」

この……部分には、19歳のいづみのすべての感性が詰め込まれている。

そう、女の子の部分も、女の部分も、それにしても映画ってヤツは、本心にスゴイ。

純粹培養されたいづみのある感性に、たった一本の作品が、自由自在にいろんな色を塗りたくってみせるのだから、男の、夢も希望も情熱も、見本も味も、下心も、全部まとめて映画は、スゴイ。













ジーンズにTシャツ。

いつものイメージは、やっぱりこれ。でも本音のいづみはずいぶん違う。

「カチツとした洋服が好き」

ワンピースよりもパツが、ローファよりもハーフスが、今の彼女の心を占めているようだ。買い物も大好き、だという。

1度ショッピングを始めると、そこそそバートの閉店に気がつかないくらい勢いでもって、買い物に没頭してしまふらしい。

衝動買いの人、でもある。

オシャレに聞かしては、どれをとっても完璧な、浅野温子さんが彼女の憧れ。女優という面においても、彼女は彼女の憧れの人であるらしい。それも、ここ最近の浅野ブームから……ではなく、11歳のときから。

「友だちとふたりで、小学校6年生のときに「スローなギ」にしてくれ」を観たんです。以来、ずーっと浅野温子さんは私の憧れの人

そのときスクリーンの中の浅野温子は、だだだほのオールドに髪はくしやくしゃ……のいでたち。

その様子が、いつそいつみのハートに火をつけたらしい。

それにしても、小学校6年生の少女が、自主的にあたり前のような顔をして、「スローなギにしてくれ」を観るものだろうか？

「えっ、おかしいですかあ？ 私には、すごく普通のことだったんだけどなあ」

初めて好きになった俳優……  
ジョーン・コネリー。

いづみ、6歳。











数え切れないほど無数の原石。動かされることもなく、  
ずっと誰かを待ってる：そんな瞳をしてる、今日の私。





不都合なことが何もなければ、もったもったしなやかに  
生きたい。たとえば1滴の汗も流さないくらいに。





そろそろラヴ・ストーリーを演じて、いいでしょう？  
いづみなら、たぶんこんなふうに愛し始めると思うけど。























ラブ・シーンなしのラブ・ストーリーは、瞳で語り合う  
ことがポイント。何も出来なくなるくらい愛してくれる？























いつも、初めてのHAWAIIは、  
S・B・D から、  
S・H・P・P・Y までを  
ぎゅしりハックした旅となったらしい。

「到着したとたんに、気分は最悪。だっ  
てお天気が悪いんだもん、嵐ですよ  
嵐ノ(笑) でもね、日が経つにつれて  
少しずつだけどお天気が良くなってき  
たし、いろいろあったけど、これをみ  
たらやっぱり最高だったなあって……」

「これ」とはこの写真集のこと。  
いろいろ、とは、本音にいろいろで  
ます。嵐のため波が異常に高く、撮影  
中、いづみは波にのまれてしまし、そ  
うになった。それはB・A・Dの思い出  
次はH・A・P・P・Yのほうで、動物好きの  
いづみにとって、いちばんの仲良しは  
写真集にも登場しているワンちゃん。  
このカットが、今回の撮影の中で、い  
ちばんイキキっているかも!!  
で、もうひとつB・A・Dな思い出



それはセーターを着ていても暖まし  
まる寒さの中で、ただでさえ暑がし  
い水着姿になったこと。寒い、暑が  
しいの、重苦、もなんのそのノ、と、  
いふ勢いで取り組んだ彼女。このへん  
は、さすがに映画やドラマで撮るこ  
だけのコトはある。

何しろ「ビーチバップ・ハイスクリル」  
で、吹き飛ばしの過激・大胆アクシ  
ョンをみせてくれるいづみなんだから、  
「映画でもなんでもやるとなったらと  
ころやらないと気がすまないタイ  
プ」。でも、正直つらちゃった。ビーバ  
ップ「」は命がけです。その証拠に、  
危険なアクション・シーンをする前は、  
私そこじやうに「なだり散らしちゃう  
ほど、大緊張してしま……」

ひとつの作品を撮り終えるたびに、自  
分の中に新しい「武器」を貯えていく。  
いづみがまた今年いちばんの「夢」は、  
いちばん美しく危なげな夢……。







# KISS OF FIRE



## 五十嵐いづみ写真集 撮影・橋本雅司

製作協力・株式会社ビッグアップル© アートディレクト・寺尾正哉

ヘアメイク・西山舞 カメラアシスト・安居敏雄 プリンティングディレクター・甲州博行

1988年3月10日 初版発行

発行者・横内正昭

発行所・株式会社ワニブックス 電話03(356)9081(代表)

〒160 東京都新宿区四谷2丁目12番地 振替東京6-157086

印刷所・凸版印刷株式会社 Printed in Japan 1988

ISBN4-8470-2074-X





ON SALE NEW SINGLE

「素直になれなくて」  
五十嵐いづみ



LONG SALE FIRST ALBUM

「IZUMI」  
五十嵐いづみ



LONG SALE MEMORIAL SINGLE

「エスケイプ」  
五十嵐いづみ



# KISS OF FIRE

発行/株式会社ワニブックス定価1,550円(本体1,505円) ISBN4-8470-2074-X C0076 P1550E